

学生優秀発表賞受賞者一覧

例会	年度	受賞者(氏名・所属)	題目
124	2012	材木 久晃(金沢大院薬)	(±)-Serratine、(±)-Lycoposerramine T および(±)-Lycopoclavamine B の全合成
		大石 雄基(富山大院薬)	ピリジン-フェノール交互型オリゴマーの合成と自己相補的水素結合能の評価
		北 将大(金沢大院薬)	GC-MS/MS による多環芳香族炭化水素キノン類の一斉分析法の開発と大気粉塵試料の分析
		松岡 由貴(金沢大院薬)	4N 配位 Pt 錯体の抗がん活性における芳香環スタッキング構造研究
		李 朝香(富山大院薬)	ABC タンパク質サブファミリー D の細胞内局在化機構—ヒトと線虫での共通性—
		市原 克則(富山大院薬)	5'-リビッドホスファターゼ SHIP2 が摂食行動に与える影響の解明と、SHIP2 を標的とした新規耐糖能改善薬の開発
		田中 智大(富山大院薬)	Ser/Thr リン酸化による EGF 受容体の活性化制御機構
		石川 雄大(富山大院薬)	マウスにおける Shati/NAT8I のメタンフェタミン応答性作用メカニズムについて
		本領 智(富山大院薬)	大腸癌細胞におけるナトリウムポンプの病態生理機能
		中里 亮太(金沢大院薬)	ミクログリア細胞における ATP 応答性 Runx2 発現上昇機構の解明
125	2013	周 越(富山大院薬)	炎症シグナルを介した EphA2 のリン酸化制御
		松本 隼(富山大院薬)	副腎白質ジストロフィー:レンチウィルスベクターを用いた ABCD1 遺伝子発現と骨髄移植
		中村 勇斗(富山大院薬)	抗アルドステロン薬による非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)とメタボリックシンドローム病態の新規モデルマウスを用いた改善メカニズムの検討
		船山 佳佑(富山大院薬)	低濃度ウアバインによる癌細胞増殖抑制機構の解明
		大竹 宏尚(富山大院薬)	アクチンフィラメント構造による容積感受性 Cl ⁻ チャネルの機能制御
		吉田 紗季(金沢大院薬)	トリアジン型ベンジル化剤 TriBOT を用いたカルボン酸のベンジルエステル化反応の開発
		大町 落子(金沢大院薬)	ロジウム触媒を用いたアレニルシクロプロパン-アルケンの立体選択的環化付加反応の反応機構の解明
126	2014	小野木 康弘(富山大院薬)	PDGF を介した脂肪組織肥大化およびインスリン抵抗性進展機構の解明
		松本 隼(富山大院薬)	副腎白質ジストロフィーモデルマウスへの骨髄移植とその効果
		富井 寿詠(富山大院薬)	容積感受性 Cl ⁻ チャネル関連タンパク質の探索
		小原 直人(富山大院薬)	チロシinkinナーゼ活性に依存しない IGF-1R のリン酸化制御機構の解析
		黒川 尚也(金沢大院薬)	プラスグレルの代謝的活性化に対する加水分解酵素アリルアセタミドデアセチラーゼの寄与
		山賀 靖子(金沢大院薬)	芳香環スタッキングを有するカチオン性新規白金抗がん剤とその抗がん効果
		杉浦 太一(富山大院薬)	リン脂質輸送タンパク質 Sec14 の膜組成依存的な脂質輸送機構の解明
		陣内 比加利(富山大院薬)	ロジウム(II)触媒オキソニウムイリド形成—[2,3]-シグマトロピー転位反応を鍵反応とする(+)-tanikolide の全合成研究
		杉田 結香(富山大院薬)	チオエステルを利用した脂肪酸結合タンパク質の選択的化学アフィニティーラベル
		河口 康晃(金沢大院薬)	C-H 活性化を経由するアレン-アルキンの新規三環性骨格構築反応

127	2015	今 寛太(富山大院薬)	オレキシン系を標的とした生体リズム制御による2型糖尿病マウスの糖代謝改善効果
		齊藤 駿(金沢大院薬)	スタチン誘発性骨格筋毒性バイオマーカーとしての microRNA の探索
		執行 美智子(富山大院薬)	細胞外 vimentin による 軸索伸展作用メカニズムの解明
		酒井 晶帆(富山大院薬)	抗がん薬 oxaliplatin 投与による血流低下状態のマウスにおいて急激な局所血流増加はしびれ様異常感覚を誘発する
		島田 浩和(富山大薬)	脳関門を介した脳からの spermine 消失機構の解明
		山本 翔太(富山大院薬)	ナトリウムポンプと容積感受性アニオンチャネルによる癌細胞増殖抑制機構
		巻口 真穂(金沢大院薬)	薬物タンパク結合を検出する蛍光標識化アルブミンの開発
		下川 育実(富山大院薬)	磁性鉄ナノ粒子担持ヨードアレーン触媒の開発とフェノール類の酸化
		堀田 侑佑(富山大院薬)	光切断特性を有する光クロスリンカーの開発と標的タンパク質蛍光ラベル化への応用
		岩田 隆(金沢大院薬)	Roseophilin の全合成研究
128	2016	金田真理彩(富山大学)	SRF 転写活性化因子MKL1 およびMKL2 のポストシナプス局在とその意義
		深澤和也(金沢大学)	骨格形成過程におけるErk5 の役割
		長島涼太(富山大学)	種々疼痛モデルマウスにおける新規PAC1 受容体アンタゴニストの薬理的評価
		間越祐貴(富山大学)	Interleukin-31 による痒み反応発生への脊髄伝達機構に関する解析
		天野貴之(金沢大学)	肝障害機序解明に向けたヒト肝臓におけるダントロン代謝酵素の同定
		井上貴斗(富山大学)	SLC26A7 Cl ⁻ チャネルは胃酸分泌細胞の細胞防御機構に関与する
		三浦優佳(富山大学)	カチオン性金触媒によるアザエニンメタセシスとDiels-Alder 反応を経る新規1,4-ジヒドロピリジン構築法の開発
		横澤春奈(金沢大学)	ロジウム(I)触媒を用いるアレニルアゼチジン-アルキンの分子内[6+2]環化付加反応:アザビシクロ[6.4.0]骨格の構築
		Nurmaya Effendy(金沢大学)	Synthesis and evaluation of radiotracers for PDGFR beta imaging
		有賀優也(富山大学)	ナノディスク自己複製反応メカニズムの熱力学的、速度論的解析